

パラレルACOSシリーズ

i-PX 7300GX

継続しながら、さらなる進化を。
新ACOSシリーズ、登場。



- Microsoft、Windows、Visual Basicは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentium、Xeonは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- iモードは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- VMwareは、米国およびその他の地域におけるVMware, Incの登録商標または商標です。
- その他の製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。



安全に
関する
ご注意
ご使用の前に、各種マニュアル（「取扱説明書」、「設置計画説明書」、「運用説明書」等）に
記載されております注意事項や禁止事項をよくお読みの上必ずお守りください。
誤った使用方法は火災・感電・けがなどの原因となることがあります。

お問い合わせは、下記へ

NEC ビジネスクリエイション本部

〒108-8424 東京都港区芝五丁目33番8号(第一田町ビル)

TEL: 03-3798-6364 FAX: 03-3798-7191

お問い合わせURL <http://www.nec.co.jp/products/acosclub/>

E-mail: a-club@acos.jp.nec.com

●このカタログの内容は改良のために予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本カタログに記載されている製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。
●本製品（ソフトウェアを含む）が、外国為替および外國貿易法の規定により、輸出規制品に該当する場合は、
日本国外に持ち出す際は日本政府の輸出許可申請等必要な手続きをお取りください。
詳しくは、マニュアルまたは各製品に添付しております注意書きをご参照ください。



貴重なIT資産を活かしながら、 オープン化、クラウド化の要望に対応。 新・企業情報基幹、i-PX7300GX誕生。

企業にとって基幹システムは、経営の基盤であり、重要な資産でもあります。

これからも、情報基盤として活用してきたACOS-2シリーズを、企業活動にずっと活かしていきたい…。

このようなお客様のご要望に応えて、パラレルACOS(i-PX7300GX)を製品化しました。

オープン化、クラウドといった進展する情報環境に対応し、最新のオープンテクノロジを投入。

ファイル転送業務の利用範囲の拡大や、オンライン業務利用環境の仮想化対応など、

オープン連携機能の継続的な向上とともに、バックアップ業務のテープレス対応や

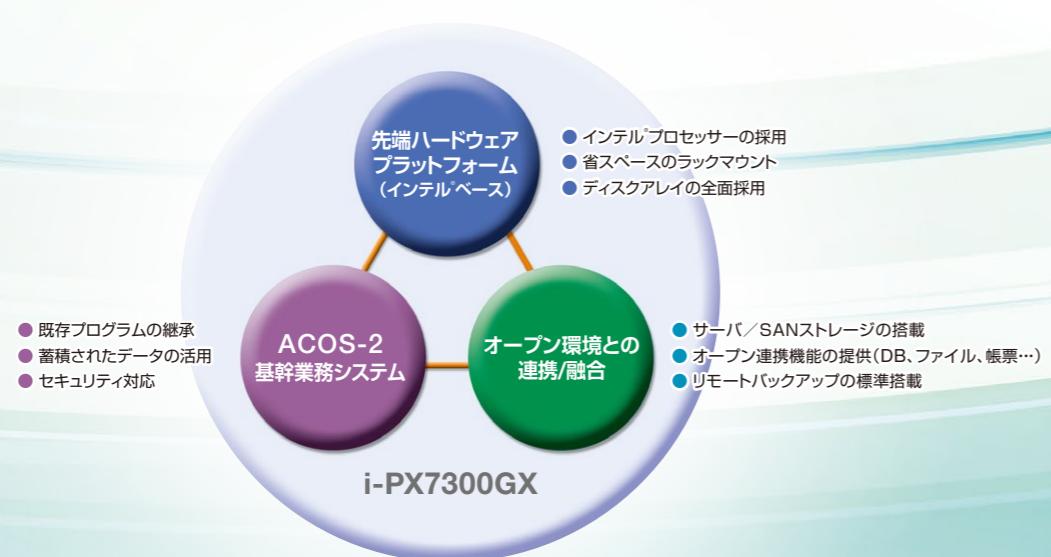
ネットワーク/セキュリティといった基盤機能を拡充しました。

また、本体へのサーバ/SANストレージの搭載やオープン環境への遠隔バックアップ機能の標準搭載など、

オープン機器/オープン環境を活用する機能を装備。

企業資産を継続しながら、クラウド/データセンターなどの最新情報システムへの

発展を見据えたi-PX7300GXをぜひご検討ください。



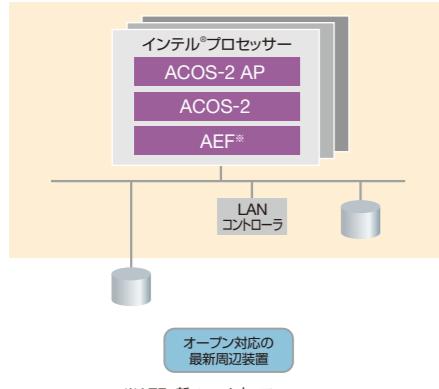
オープンテクノロジから生まれた優れた機能・性能が 御社の情報システム構築を支援します。



先端オープンテクノロジの採用

インテル®プロセッサーを核に、 進化する基幹サーバへ

CPUにインテル®プロセッサーを採用しながら、ACOS-2のアーキテクチャをそのまま利用可能なファームウェアを搭載。また、Windows機能を利用して、オープン系機器を活用できる環境を実現しています。



優れた価格性能比と拡張性

低コストでハイパフォーマンスの 基幹サーバ

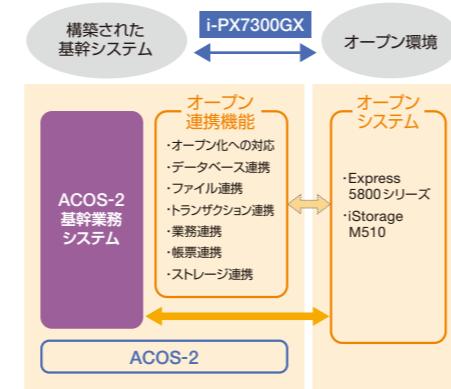
インテル®プロセッサーと、その性能を最大限に引き出すファームウェアにより、優れた拡張性を備えています。これにより、低コスト化を実現しながら、オープン環境と連携した業務の拡張や、分散化していた業務の集約化に、ゆとりをもって対応できます。



オープン環境との連携/融合

オープン環境との連携/融合を 実現する基幹サーバ

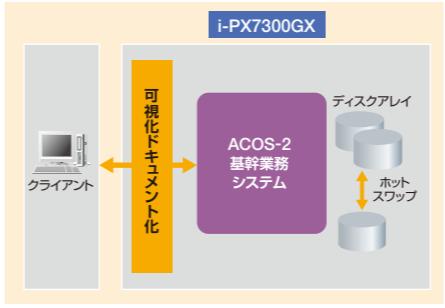
筐体内へのExpress5800シリーズの搭載やNECのSANストレージ、iStorage M510との接続機構をサポート。オープン環境と融合したソリューションを提供します。また、各種オープン連携機能のサポートにより、オープン環境のデータベースや業務アプリケーションとの連携を実現しています。



高信頼性/高運用性の追求

企業の情報基盤として信頼性/運用性を 追求した基幹サーバ

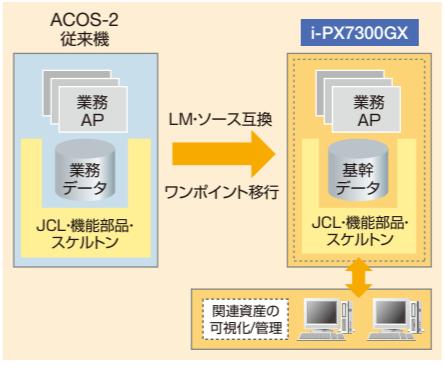
長年、ACOS-2シリーズで蓄積してきたRAS機能(OSやハードウェア)をベースに、バス、キャッシュのECC化や電源の二重化、ディスクアレイの全面採用とともにホットスワップ機能を提供。また、先端のバックアップ装置や、バックアップ連携専用ディスクの提供、システム運用状況の可視化/ドキュメント化機能などにより、高効率な運用環境を実現します。



蓄積された資産の活用

従来の情報資産を活かしながら、 スムーズに移行できる基幹サーバ

業務プログラムや業務データなどの蓄積された貴重な資産をコンバージョンせずに、そのままご利用いただけます。さらに、JCLや機能部品などのACOS業務資産の関係を可視化/明確化する業務資産管理ツールにより、資産を活かした新たな業務システムの構築や情報の共有化が図れます。



基幹業務資産の保全への対応

BC/DR*1とテープレスに対応する バックアップ基盤を備えた基幹サーバ

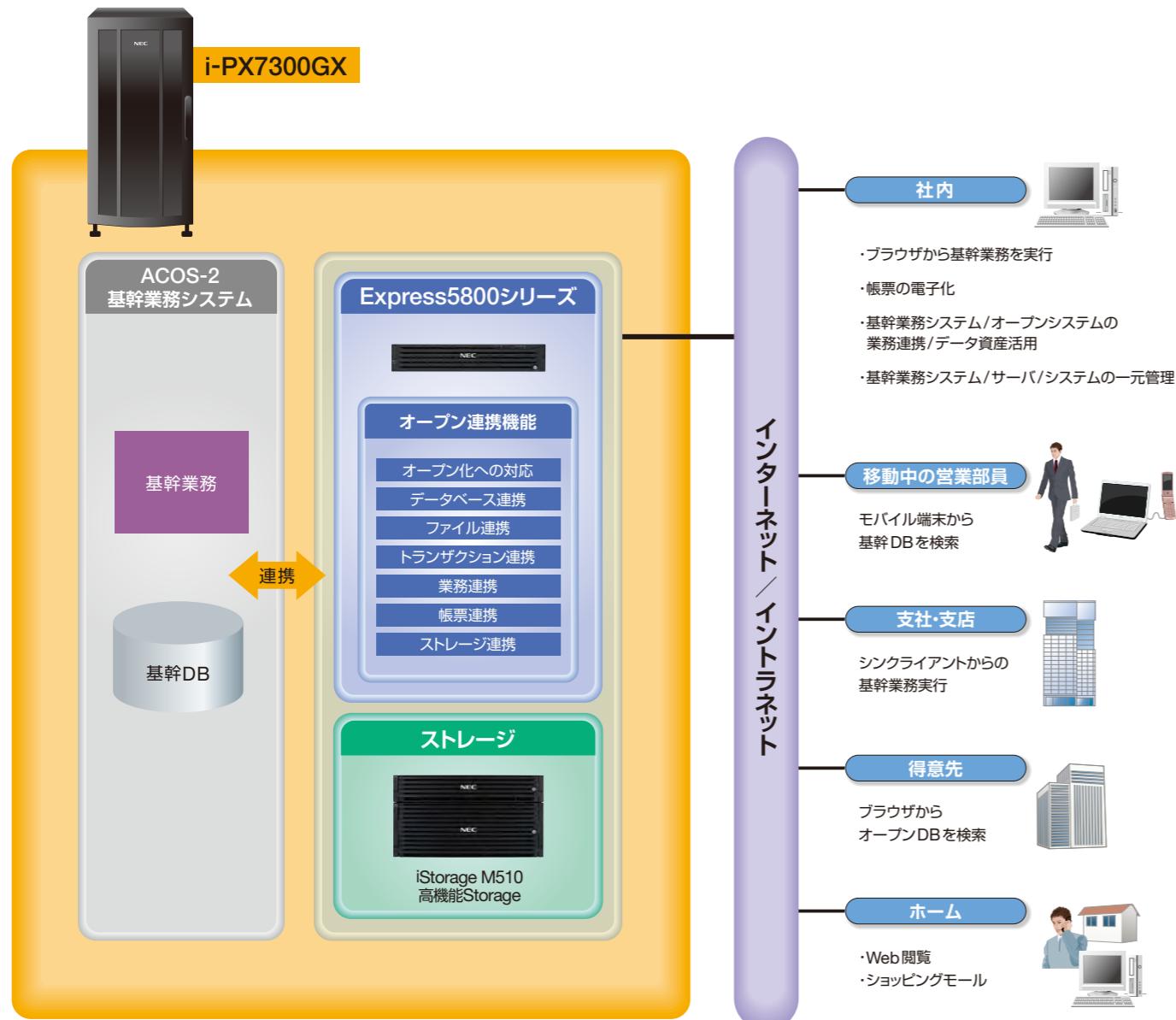
情報システムにおける「BC/DR」対応をみすえたバックアップ運用基盤を標準機能として提供。システムディスクを含む基幹業務データをDC*2等の遠隔地にバックアップすることで、ACOS-2システムの業務データの保全と災害時の早期復旧を実現。また、ボリューム単位の処理に加え、従来テープ装置を利用した場合に可能であったファイル単位のセーブ/リストアにも対応し、標準機能としての提供とあわせて、テープ装置を利用したバックアップからテープレスバックアップへの移行に対応します。

*1: BC/DR(事業継続/災害対策)Business Continuity/Disaster Recovery
*2: DC(データセンター)Data Center

オープン連携機能

オープンサーバとの一体化と、オープン連携機能の提供により、 基幹業務システムとオープンシステムの融合を実現します。

インターネットは、すでに企業の経営基盤を支えるファクタとして欠かせないものになっています。
NECでは、このような時代の流れを反映して、〈i-PX7300GX〉のインターネットビジネス基盤として
《オープン連携機能》を提供し、基幹業務システムとオープンシステムの融合を実現します。
Express5800シリーズを搭載することにより、統合メインフレームとして、
基幹業務システムのインターネット対応やインターネットビジネス時代に対応した強力な業務システムを
〈i-PX7300GX〉1台で実現できます。〈i-PX7300GX〉なら、実績ある基幹業務を活かしながら、
今後さらに進展する将来のオープンシステムにも対応していくことができます。



ACOS-2のオープン連携機能は、
基幹業務システムとオープンシステムの連携を実現する各種機能を体系化して提供します。
用途別にご提供していますので、お客様がニーズにフィットする製品を自由に選択できます。



オープン化への対応

システム全体の資産状況、運用状況の把握などにより、将来のオープン
システムを見据えた運用を実現します。

製品群: ACOS-2 VisualResourceManager
ACOS-2 SystemReporter

データベース連携

ACOS-2基幹業務システムとオープンデータベースとの連携を実現します。
基幹DBデータを高速に転送し、オープン環境での基幹データの利用、
オープン環境からの基幹DB直接アクセスなど、データの有効活用が
図れます。

製品群: OLF/DB-EX
OLF/DB-RX
OLF/DB-Navi
PC-RDBサーバ
WEBarmo/RDB

ファイル連携

ACOS-2基幹データとオープンシステムとのデータ連携を実現します。
基幹データ(順／直／索引編成ファイル)を高速に転送し、オープン環境
での基幹データの利用、オープン環境からの基幹データ直接アクセス
など、データの有効活用が図れます。

製品群: UXNET/FTPⅢ
UXNET/FTP-EXT
FTP-Planner
FTP-Viewer
OLF/FL-RC
OLF/FL-RS

トランザクション連携

ACOS-2のOLTP業務において、わかりやすいGUI画面で基幹データ
資産を活用したり、基幹業務システムと業務連携するなど、新しい情報
環境が実現できます。

製品群: VIS/VE
OLF/TP-UT

業務連携

ACOS-2の基幹業務とオープンシステムのアプリケーション連携、ジョブ
ネットワークの構築など、ACOS-2とオープンシステム間のシームレスな
業務連携を実現します。

製品群: OLF/JB
UXNET/ML

帳票連携

ACOS-2出力帳票の電子化やオープン環境との連携が可能になり、さま
ざまな部門で基幹データの有効活用が図れます。

製品群: Printview for ACOS-2
PrintPort for ACOS-2
BizReporting

ストレージ連携

高機能／高信頼のiStorageやACOS-2の高機能Storageを利用して、
基幹業務システムとオープンシステムの高速データ交換、長時間運用の
実現など、SANを活用したシステム構築を実現します。

製品群: REPLICATION CTL LITE
FileConverter for ACOS-2/iStorage

将来のオープンシステムを見据えた運用をサポート。

システム全体の資産状況、運用状況を把握することで、システムの可視化を実現し、

将来のオープンシステムへの移行を支援します。また、テープを利用しない最新のバックアップ運用など、

今後のオープンシステムを見据えたシステム運用を実現します。

業務資産や運用状況を容易に把握し、システムの可視化を実現

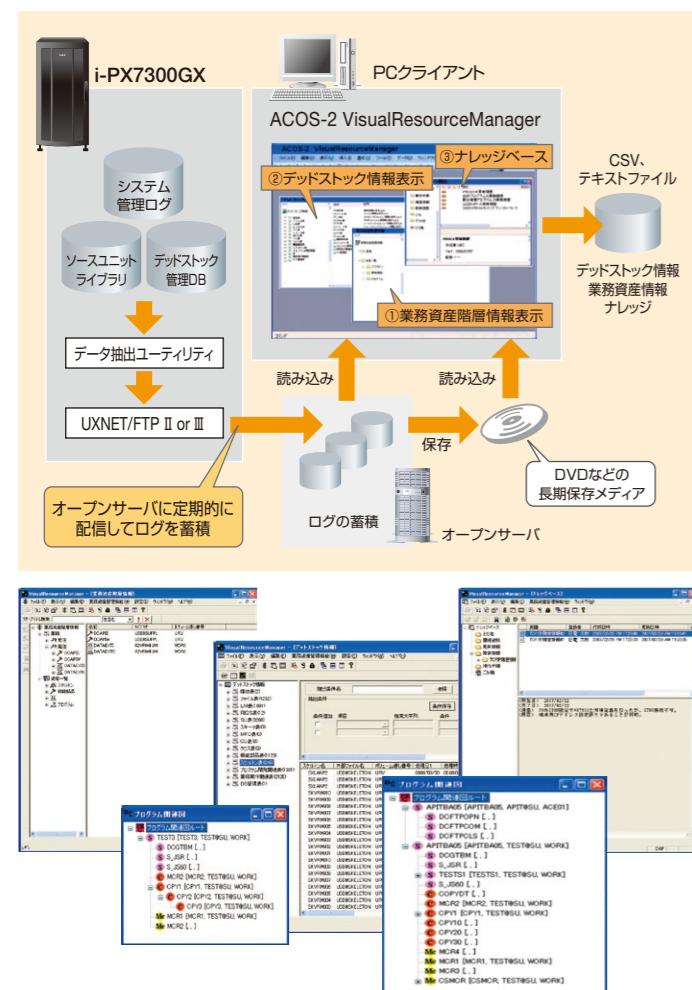
システム全体の資産状況、運用状況を確認することでシステムの可視化を実現し、内部統制等のコンプライアンス対応を支援します。

また、今後の業務システムの方向性を検討するための指針として活用いただくこともできます。

ACOS-2システムの資産管理業務を支援する 「ACOS-2 VisualResourceManager」

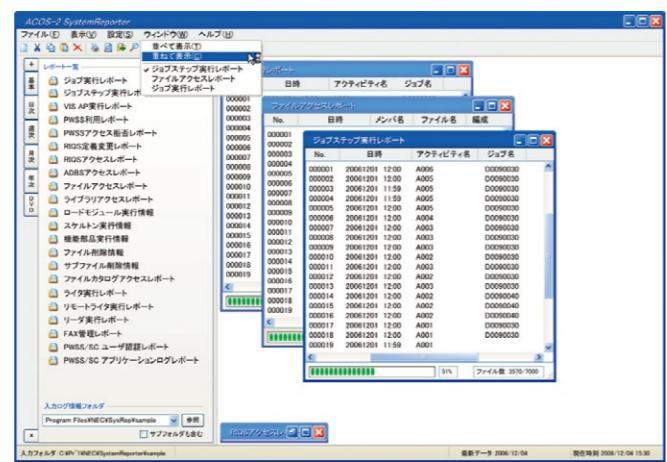
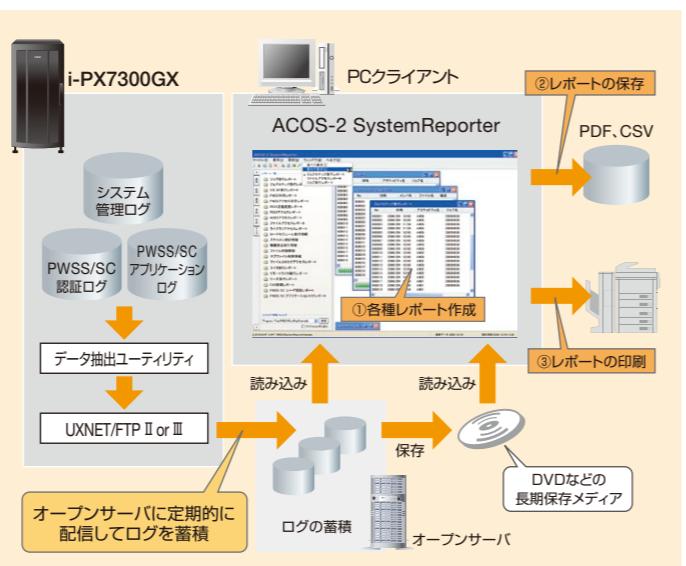
ACOS-2上のシステム管理ログやデッドストック管理ツールの管理データベースをもとに、ACOS-2システム資産（JCL/機能部品、スケルトン、プログラム、ファイル等）の関連性をツリー構造で表示することができます。また、プログラムソースやJCLを解析することにより、プログラムを構成しているソース、COPY原文、MFDなどの業務資産の関係を階層表示できます。

これらの機能や長期間使用していない資産を検索できる機能などを活用し、ACOS-2システム資産の可視化を支援します。さらに、業務資産ごとに操作手順や更新情報、障害情報をナレッジとして登録することで、日々の運用業務の効率化を支援するとともに、表示した業務資産情報やナレッジはCSVやテキストファイルに出力が可能で、出力情報を二次活用したシステム構築にも対応します。



ACOS-2システムの運用状況をレポートする 「ACOS-2 SystemReporter」

ACOS-2上にあるシステム管理ログやセキュリティ関連ログを活用して各種レポートを作成し、容易にACOS-2システムの日々の運用状況を把握できます。ジョブ実行レポートやPWSS/SCユーザ認証レポート、またRIQSアクセスレポートなど、運用状況を把握するためのレポートをあらかじめ複数定義しており、容易に必要な情報をレポートとして作成できます。また、異なる種類のレポートを自由に組み合わせた「合成レポート」を作成することができ、特定の項目にフォーカスした利用状況を確認することも可能です。作成したレポートは印刷したり、PDFやCSVファイルに出力でき、監査などにおけるエビデンスとしての利用も可能です。



基幹業務データのオープン環境での利用ニーズに対応。

Windowsはじめとしたオープン環境において、基幹業務データを活用したシステム構築を行いたい。

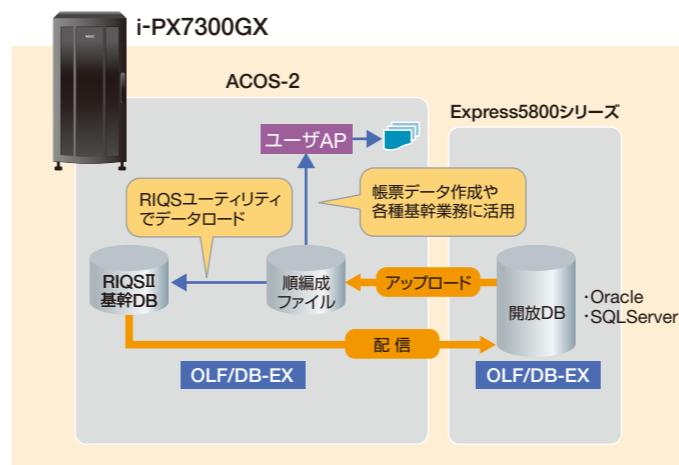
また、オープン環境から基幹業務データにアクセスしたい…。

〈i-PX7300GX〉は、データベース連携により、基幹システムとオープン環境間のデータ活用を実現します。

基幹システムとオープン環境間のデータベース連携によるデータ活用

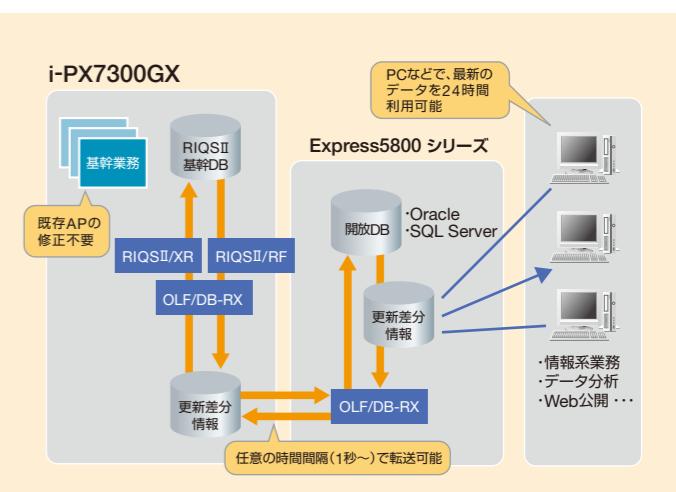
基幹データベースと開放データベース間で、 データを一括転送できる「OLF/DB-EX」

基幹データベースや標準ファイルのデータを抽出し、部門サーバ（Express5800シリーズなど）上の開放データベース（Oracle、Microsoft®SQL Server）へネットワークを利用した一括配信・高速格納を行うデータベース連携を実現。グループウェア、データウェアハウスのDBとして、情報系業務のDBとして、部門サーバ上のオープンシステムにおける情報活用の拡大と運用・保守の効率化を支援します。さらに、開放データベース上のデータをACOS上に一括高速アップロードする機能もサポート。基幹システムと部門サーバ間のDBデータ相互活用を実現します。



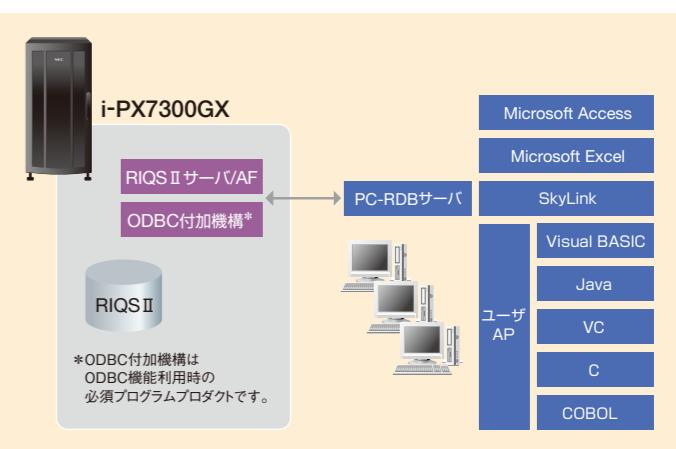
基幹データベースと開放データベース間で データ更新をリアルタイムに反映できる「OLF/DB-RX」

「OLF/DB-RX」では、RIQS II基幹DBに対する更新情報を、基幹業務とは非同期に任意のタイミングでオープンシステムのデータベース（Oracle、Microsoft®SQL Server）に反映したり、部門サーバ上のデータベースへの更新内容をACOS-2のRIQS IIデータベースに反映するレプリケーション機能を実現します。基幹データベース、開放データベースの双方のデータベースを使用した業務を運用中でも、業務を中断することなくデータベースに対する更新をリアルタイムに反映することができ、複製データに新鮮さが求められるシステムで活用できます。



PC環境の市販アプリケーションや業務アプリケーションから RIQS IIデータをアクセスできる「PC-RDBサーバ」

RIQS IIに蓄積されたデータを、エンドユーザー環境で利用可能になります。Microsoft® Office（Access®、Excel®）などのWindowsに対応した市販アプリケーションを利用して、ACOS-2のオペレーションを意識することなく基幹データを自由に抽出、加工、そして分析できます。また、RIQS IIに対する豊富なアプリケーションインターフェースを提供し、Visual BasicやJavaアプリケーション、COBOL85アプリケーションから、ACOS-2上の新規AP開発をすることなく、直接RIQS IIをアクセスすることができます。



オープン連携機能 — ファイル連携、トランザクション連携、業務連携

オープン環境と融合する多彩な情報環境を実現。

基幹業務とオープン環境との間では、情報のやり取りを行うためのファイル転送に加え、基幹業務とオープン環境の業務との連携、また、オープン環境から基幹業務の利用など、さまざまな連携形態が考えられます。

〈i-PX7300GX〉では、各種オープン連携機能により、このようなご要望にお応えします。

オープンネットワーク環境でのファイル転送を、より安全に、より快適に

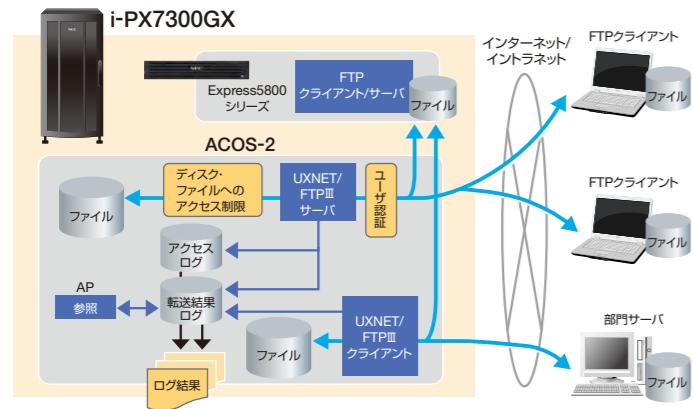
TCP/IPネットワーク上のFTPファイル転送を実現する「UXNET/FTPⅢ」

FTPプロトコル転送機能「UXNET/FTPⅢ」では、TCP/IP接続された相手システムとの基幹データファイル転送をより安全・確実に行うための各種機能を提供。本格的なオープンシステム構築に活用いただけます。

- ブラウザなどのGUIクライアントからの転送指示操作を可能にし、高い運用性を提供します。

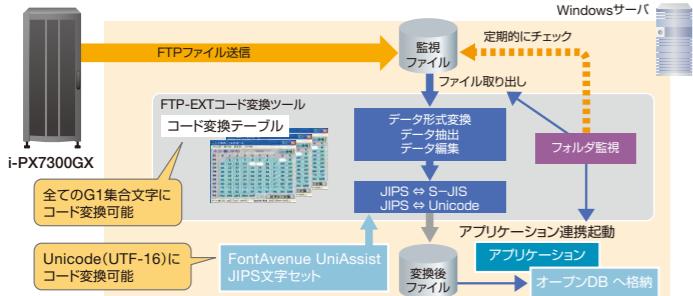
- 各種セキュリティ機能を提供し、基幹データの不正使用を防ぎます。

- ACOS-2のユーザ名/パスワードによるユーザ認証
- ACOS-2ディスク・ファイルへのアクセス権限によりファイル利用者を制限
- ACOS-2へのアクセス状況、ファイル転送結果を履歴として保存・編集出力する機能を提供



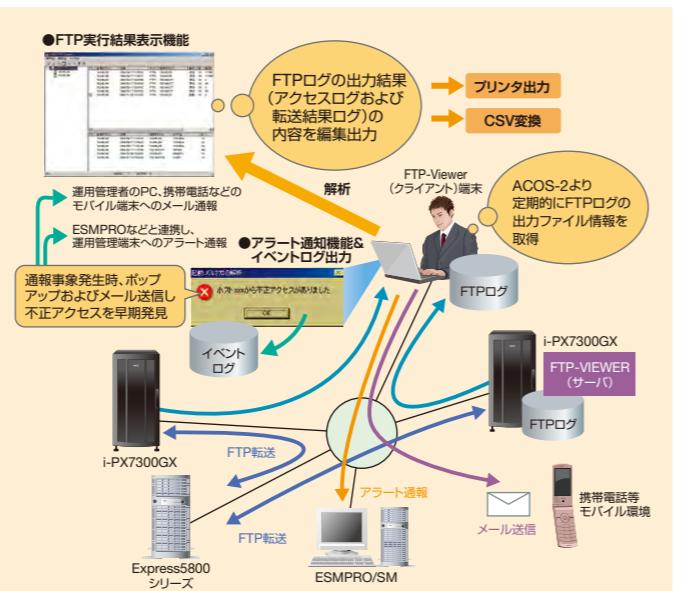
基幹データのコード変換/編集によるファイル転送を支援する「UXNET/FTP-EXT」

標準ファイル（順編成/直（相対）編成/索引編成）、ソースライブラリ、RIQSファイルなどのACOS-2の各種ファイル形式のデータを、送信できるデータ形式に変換する機能を提供。受信時の逆変換も可能です。また、オープンシステムで即座に利用が可能なCSVなどの形式への編集、Shift-JISやUnicodeへのコード変換を、転送先のオープンサーバ上で実現するFTP-EXTコード変換ツールを新たに提供。これにより、i-PX7300GX本体のCPU消費を大幅に削減すると共に、FTPの利用範囲を拡大します。さらに、ファイル転送後に、オープンデータベースにデータを格納するなど、アプリケーションの連携起動により、基幹データのオープン環境での活用をより容易にします。



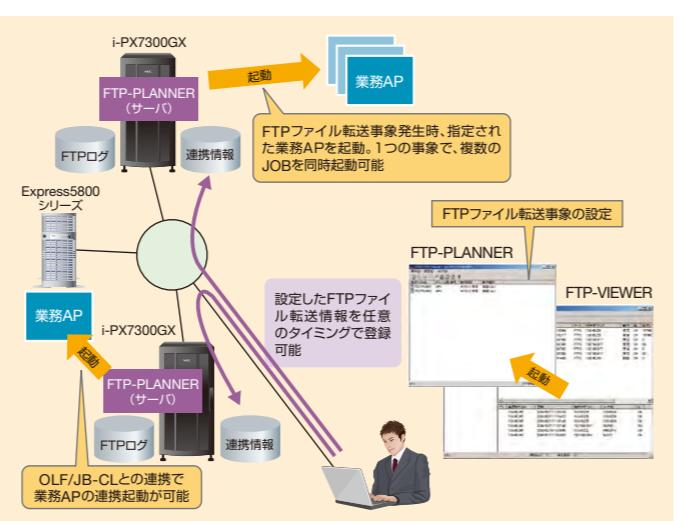
FTPファイル転送業務の監視を支援する「UXNET/FTP-VIEWER」

FTPによるファイル転送の状況を、PCクライアントで一元管理できる機能を提供。障害発生時のメッセージポップアップやメールでの管理者への通知が可能で、障害対処も迅速に行うことができます。ESMPROなどの各種運用管理システムと連携した運用も可能です。



FTPファイル転送結果によるアプリケーション連携起動を実現する「UXNET/FTP-PLANNER」

FTPによるファイル転送利用時、ファイル転送の結果に従い、事前に設定された業務アプリケーションの起動を行う機能を提供。ファイル転送結果をトリガーにした業務連携システムの構築を実現します。



基幹業務と新規業務のデータ共有

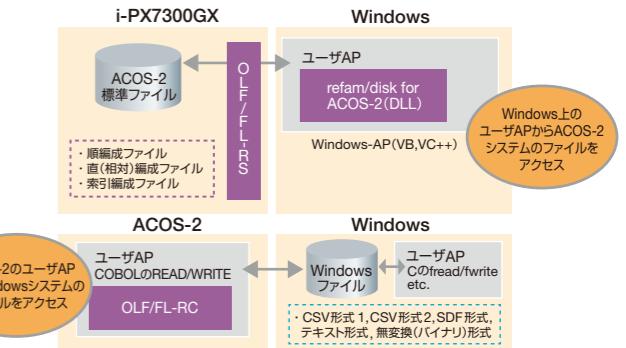
Windows上の業務プログラムからACOS-2標準ファイルをアクセスできる「OLF/FL-RS」

Windows上の業務プログラムから順編成ファイル、索引編成ファイルなどのACOS-2標準ファイルをアクセスするAPI(DLL)を提供。i-PX7300GXのファイルをWindows上のファイルと同じ形態で参照/更新できます。

基幹データと同様にWindowsファイルにアクセスできる「OLF/FL-RC」

ACOS-2基幹データにアクセスしていた基幹業務アプリケーションを変更することなく、そのまま利用してWindowsファイルにアクセスできます。これにより基幹業務アプリケーションの有効活用、Windowsファイル資産の容易な活用を行えます。この「OLF/FL-RC」とWindowsソフトからACOS-2標準ファイルをアクセスできる「OLF/FL-RS」(Windows側)

「refam/disk for ACOS-2」の提供により、ACOS-2基幹データ(標準ファイル)およびオープン環境のWindowsデータの自由自在な活用を実現します。

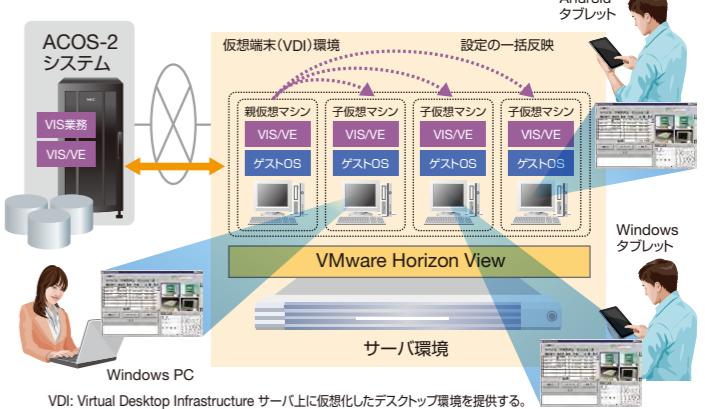


オープン環境／オープン技術の基幹業務への適用

基幹業務のGUI化を支援する「VIS/VE」

CUIベースのVISアプリケーションにGUI部品の追加を可能とするVF(Visual FEP)と、VISアプリケーションとVisual Basicなどで作成したWindowsアプリケーションとの連携機能を提供するOL(OpenLink Ware)の2種類の機能で、基幹業務のGUI化を実現します。Visual FEPでは、ETOS相当のフロントエンド機能を搭載。既存業務資産、運用を継承しつつ、ホスト側の開発知識だけで、段階的にGUI業務への移行を行うことが可能です。OpenLink Wareでは、ACOS-2(VIS業務)とPC(端末業務)双方向のプログラム間通信、リモートジョブ機能を用意し、C/S型基幹業務の構築を支援します。いずれも、VMware Horizon Viewで構築する仮想端末(VDI)環境をサポート。設定済VIS/VE端末の複製を簡単に作成できるなど、VMware Horizon Viewが提供する機能を活用し、VIS/VEの運用管理業務の効率化を実現します。また、仮想端末上のVIS業務画面を表示する

デバイスとしては、Androidタブレット等の可搬性端末が利用でき、VIS業務の適用範囲を広げることが可能です。

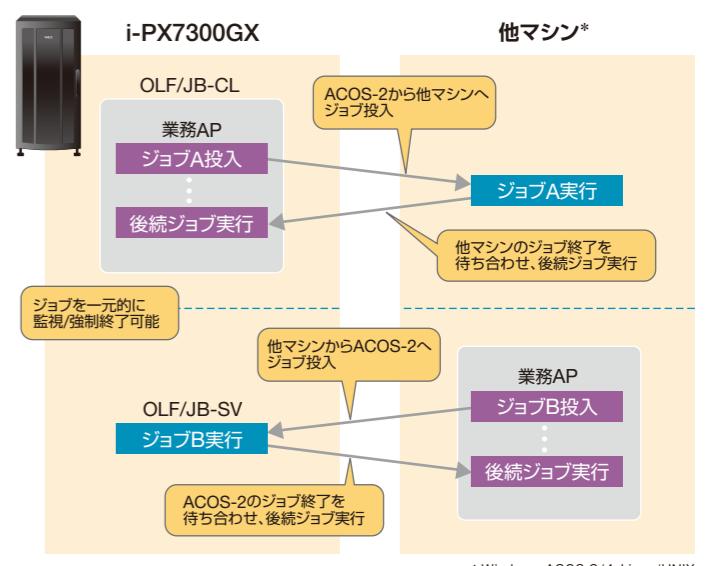


既存業務とオープン環境業務を連携した新規業務を構築

基幹業務とWindows/Linux/UNIX上の業務を連携できる「OLF/JB」

Windows上の業務とACOS-2の基幹業務との間で、相互にジョブ投入/終了などの実行制御を行う業務連携機能を提供します。既存の基幹業務とWindows上に構築した業務を連携させ、既存業務を活用した多様な運用形態が実現できます。これにより、相手マシンに投入したジョブも含め、ジョブの状態監視、実行制御の一元化が図れ、また、マシン間で待ち合わせが発生するような業務でも、自動運転/夜間無人運転が可能です。さらに、分散ジョブネットワークプロトコルとして広く普及しているNQS*を採用していますので、Express5800シリーズ上のジョブ運用管理製品「WebSAM JMSS」、「WebSAM JobCenter」、「ACOS-4 OLF/JB-SV」、Linux/UNIXマシン上の「WebSAM JobCenter」を相手としたジョブ連携を行えます。

*NQS:Network Queuing System



* Windows, ACOS-2/4, Linux/UNIX

オープン連携機能 — 帳票連携

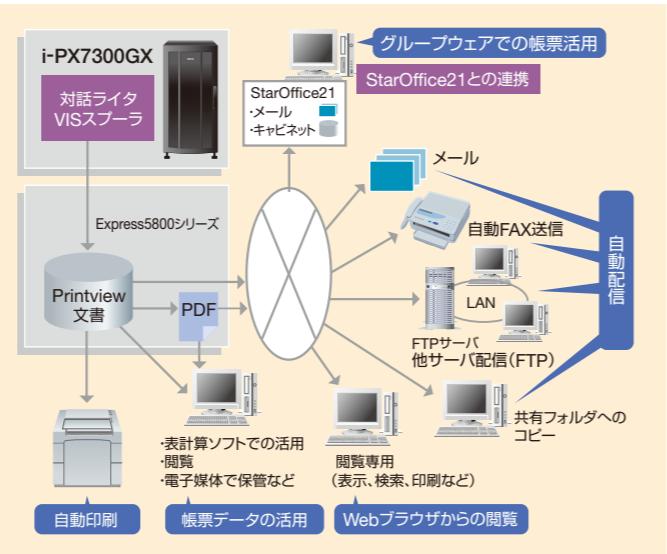
オープン環境を活用した帳票出力運用。

基幹業務の帳票出力運用においても、オープン環境との連携は求められています。帳票内のデータの二次活用、バーコード出力や画像データの埋め込みといった帳票イメージの加工、オープン環境とのプリント共用など、新たなニーズに対応しなければいけません。
(i-PX7300GX)は、各種帳票連携機能により、帳票出力運用でのオープン連携を推進します。

基幹業務帳票のオープン環境への出力と活用

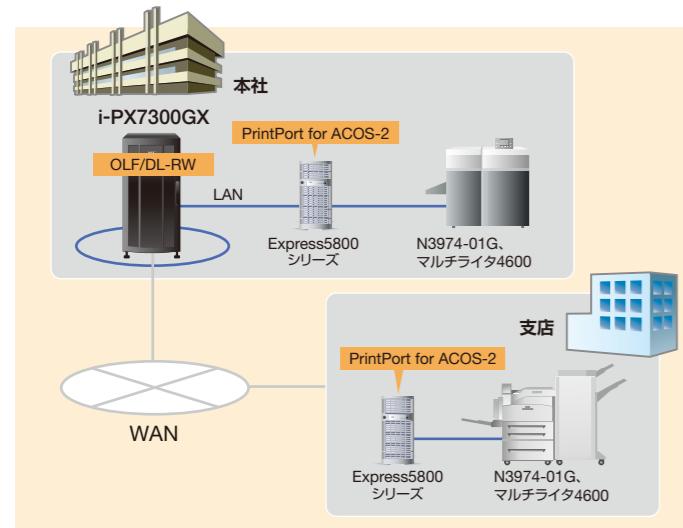
ACOS 帳票を電子化し、Windows 端末で利用できる 「Printview for ACOS-2」

センタNIPや端末プリンタに出力していたACOS-2帳票を電子化し、Windowsクライアント端末で活用できます。帳票の宛先別振り分けやメール・FAXでの配信、また遠隔地の他サーバへの転送、共有フォルダへのコピーなど業務環境にあわせた多様な配布を行うことができるだけでなく、PDF出力によるPrintview環境に依存しない電子帳票利用や、電子帳票化時の自動パスワード設定などセキュリティ対策にも対応しています。クライアント製品としては、閲覧および帳票の二次活用が行えるものに加え、電子帳簿保存法に対応したものやインターネットを介したWebブラウザからの閲覧に特化したものなど各種用意。ACOS-2から出力する帳票のペーパーレス化、またオープン環境での帳票データの活用によって、業務の作業効率アップ、用紙代の節約、格納スペースの縮小、仕分け作業や配送コストの削減などを実現します。



オープンプリンタによるプリンタソリューションを提供する 「PrintPort for ACOS-2」

従来、ACOSセンタプリンタに出力している基幹業務帳票の、オープンプリンタへの印刷出力を実現します。ACOS JIPS体系のG0およびG1集合文字やユーザ定義文字の印刷が可能、フォント互換を実現、フォームオーバレイ印刷が可能など、従来のACOSシステムで使用しているセンタプリンタとの高い互換性を実現しています。また、フォント移行ツール、フォーム移行ツールなど、現システムでの資産をそのまま活用するための各種ツールにより、短期間での環境構築を実現します。さらに、リモート印刷機能により、センタのACOSデータを支店に設置したオープンプリンタで出力可能になり、遠隔地でのリモート印刷システムを容易に構築することができます。



XML技術を取り込み、帳票イメージのダイナミックな加工や インターネット連携を実現した「BizReporting」

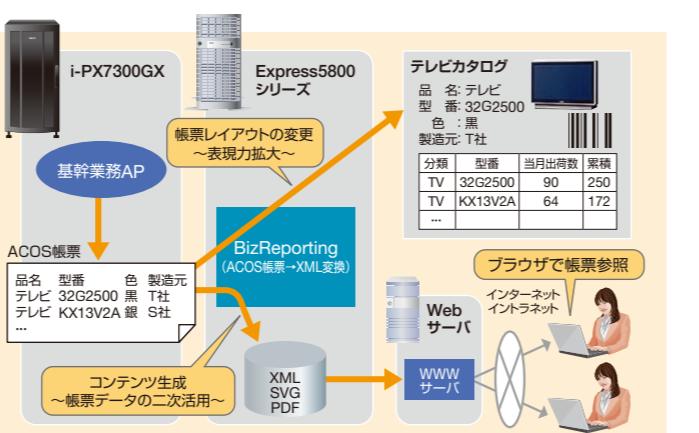
ACOS-2の基幹業務から出力される帳票データを、インターネット上のデータ交換や電子商取引データなどのデータ記述に利用される汎用データ記述言語であるXMLデータに変換することにより、オープン環境上でACOS-2から出力する帳票イメージの積極的な加工を行うことができます。

● 帳票加工

従来業務からの出力帳票に、イメージ(ロゴ、デジタルカメラ写真、印影、透かし文字等)の追加、GS1-128やQRコードなどのバーコード生成、フォントスタイル変更・カラー化等の大幅なレイアウト変更を行い、印刷出力することができます。

● コンテンツ生成(SVG、XML、PDF)によるオープン環境での基幹帳票活用

インターネット経由のWeb配信やメール利用の帳票配信に対応したファイル(SVG、XML)生成に加え、PDFファイルの生成を行うことも可能です。また、帳票加工したイメージは、さまざまな環境で利用することができます。



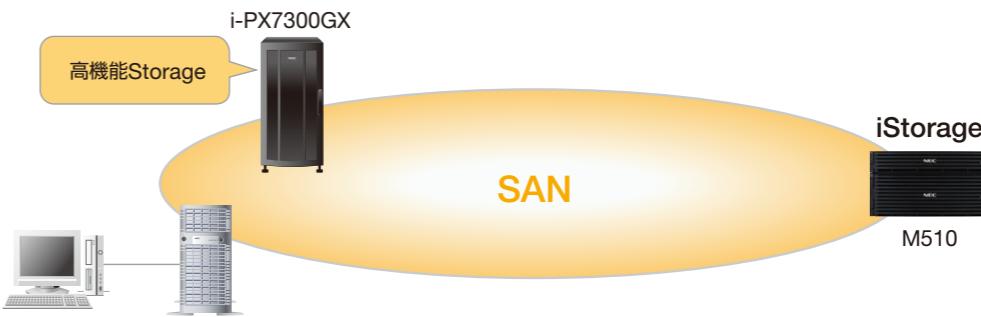
オープン連携機能 — ストレージ連携

SAN環境で、企業の情報管理に適切に対応。

システムの大規模化、データの多様化によって、企業で扱うデータは日々増加し、取引のグローバル化によって、業務の無停止性が求められています。また、法規制への対応など、企業の情報管理局面における新たな課題への対応も重要な要素となっています。(i-PX7300GX)は、このようなニーズに、容量をスケーラブルに拡張でき、大規模、高負荷環境でも安定した性能を維持するストレージ基盤を提供することで、お応えします。

SANの活用で基幹業務を革新

SAN対応のストレージiStorage M510やi-PX7300GX内に搭載した「高機能Storage」を利用し、データ量の増大した基幹業務の構築を実現します。高機能/高性能なストレージ製品を利用することにより、データ量増大に対応できるだけでなく、業務の高速化、データレプリケーション機能を利用したオンライン運用時間の延長、ストレージ統合によるデータ一元管理等、業務運用の変革が図れます。さらに、基幹データのオープンシステムからの活用を容易にします。

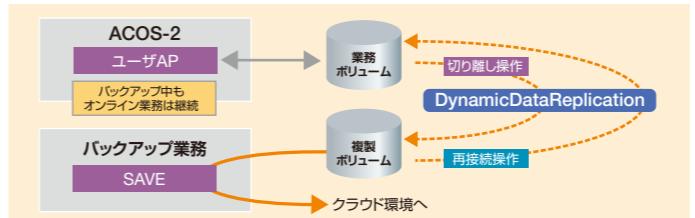


ストレージのデータレプリケーション機能で、 オンライン業務時間を拡大、処理を効率化

現在の企業情報システムは、サービス時間拡大のため、オンライン運転時間の延長が必須になってきています。そのためには、夜間に行われているバックやバックアップとの両立が不可欠になります。また、日々増加するデータに対する処理の効率化も必要になります。ストレージ装置の提供するデータレプリケーション機能*(DynamicDataReplication)により、これらのニーズに応え、従来は業務ボリュームに対して行っていたバックアップを複製ボリュームに対して行うことにより、オンライン業務とバック処理・バックアップの並行稼働を実現します。オンライン停止時間を大幅に短縮し、24時間365日営業、海外事業展開などによるオンラインサービス延長が可能となります。

*: データレプリケーション機能とは、ディスクアレイ装置内において、ボリューム（論理ディスク）の複製を簡単な操作で短時間に行なうソフトウェアです。

i-PX7300GX

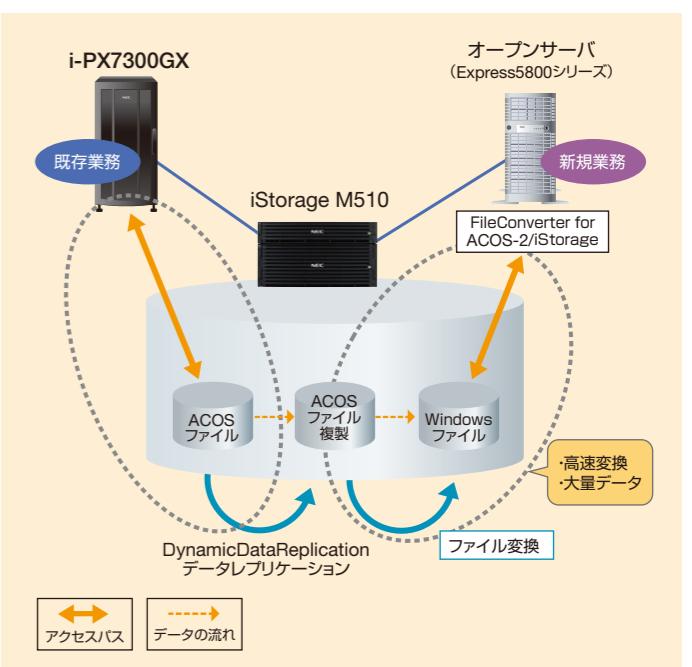


●ストレージ導入後

1. オンライン業務を一時停止
2. ボリュームの分離
3. オンライン業務再開

基幹データを、オープンなデータに高速変換する 「FileConverter for ACOS-2/iStorage」

ACOS-2ボリューム上にあるACOSファイル(順編成)を、Windowsのファイル(CSV形式)に変換します。ストレージのものもバックアップ機能により生成した複製ボリュームを介して変換する方法に加え、ACOS-2システムとExpress5800シリーズ間で共有できるボリュームの提供により、ACOS-2からWindowsファイルへの直接変換を実現しています。これにより、業務運用にあったシステム構築を選択できます。また、ファイル変換時にはACOS-2基幹システムのユーザ名/パスワードによる認証を行い、セキュリティにも対応しています。



優れたシステム運用機能で、安定稼働をサポート。

要員問題への対応、セキュリティ対応など、企業の情報システムに関する課題は多様化、複雑化し、

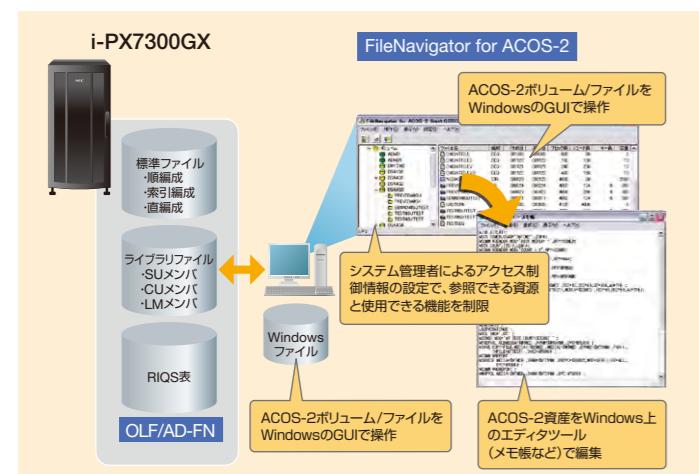
システムの運用管理業務における負担はますます増えています。

<i-PX7300GX>は、それらの課題に対応する各種機能を提供し、システムの運用管理業務を強力に支援します。

オープン環境との連携による、快適なシステム運用

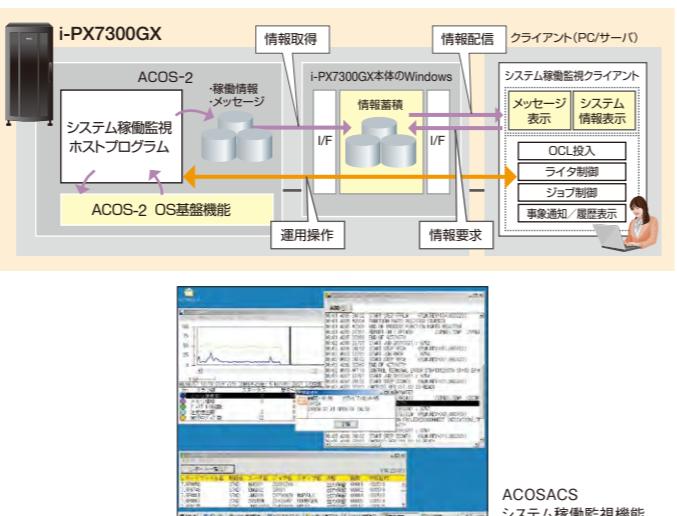
Windowsの操作性でACOS-2ファイルを操作する「ACOSファイルナビゲータ」

順編成、索引編成などのACOS-2標準ファイルやライブラリファイル、RIQS IIデータベースの表をGUIで操作できる「ACOSファイルナビゲータ」を提供。ACOS-2のボリューム/ファイル操作コマンドを熟知していないくとも、Windowsの操作性で、ファイルの一覧表示/複写/削除/名前の変更や、データベースの表名参照などの運用作業を行うことができます。Windows環境上のエディタツールとの連携によるソースファイルやJCLの修正、「UXNET/FTPⅢ」や「UXNET/FTP-EXT」を利用したファイル転送機能など、ACOS-2システムのボリューム/ファイル操作を行うための運用作業も支援します。さらに、ACOS-2のユーザ名/パスワードによる認証と、機密保護および、ファイルアクセス制御機能により、利用できる機能とアクセスできる資源を利用者ごとに制限することができ、運用面でのセキュリティも確保しています。

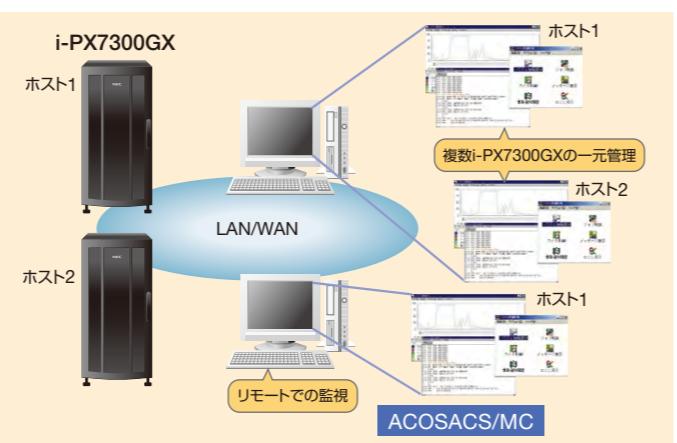


ACOS-2システムの運用・監視業務の効率化を実現する「ACOSACS」

基幹システムの安定稼働のためには、システムの状況をいかに確実に捉えることができるかが重要なポイントです。「ACOSACS」は、Windowsの操作性を活用した各種機能（ACOS-2システムのメッセージ表示、CPU使用率やディスクI/O回数などのグラフィカル表示、ジョブ制御、ライタ制御、障害等の事象通知機能、OCL投入など）によって、ACOS-2システムの運用・監視業務を強力にサポートするツールです。稼働情報やメッセージはPC上のファイルとして出力することができ、オープン環境で二次活用することもできます。



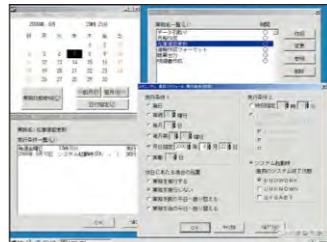
「ACOSACS」では、連携製品として、複数の管理端末から1台のi-PX7300GXの運用監視を行ったり、1台の管理端末から複数のACOS-2システムの運用監視を行うことのできる「ACOSACS/MC」を提供しています。これにより、例えばアウトソーシングサービスの利用場面でも、サービスセンターとオフィスの二箇所で運用監視業務ができるなど、さまざまなシステム形態に対応する運用サポートが可能となります。



自動運転支援機能「ARC/PL」

ACOS-2ホストの起動/終了や定期業務などの実行を自動化し、ACOS-2システムの自動運転を実現する機能を提供します。WindowsのGUI環境を利用しカレンダからのスケジュール設定が可能で、システム運用にかかるコストを削減します。

- 祝日、休日などの設定によるカレンダの生成
- ホストの起動/終了時刻の設定によるシステム稼働スケジュールの生成
- 業務の実行日時の設定による業務スケジュールの生成、実行状況の参照



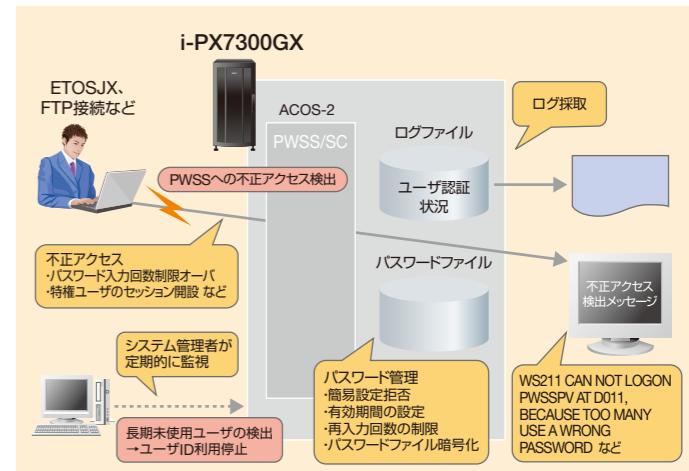
ARC/PL自動運転
支援機能

基幹システムの高いセキュリティを確保

基幹システムのセキュリティを、より強固にする「PWSS/SC」

ACOS-2基幹システムを不正アクセスから守るため、ACOS-2利用者の制限・制御、利用状況の監視を行う「PWSS/SC」を提供します。この機能は、「個人情報の保護に関する法律」および「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」にも対応しています。

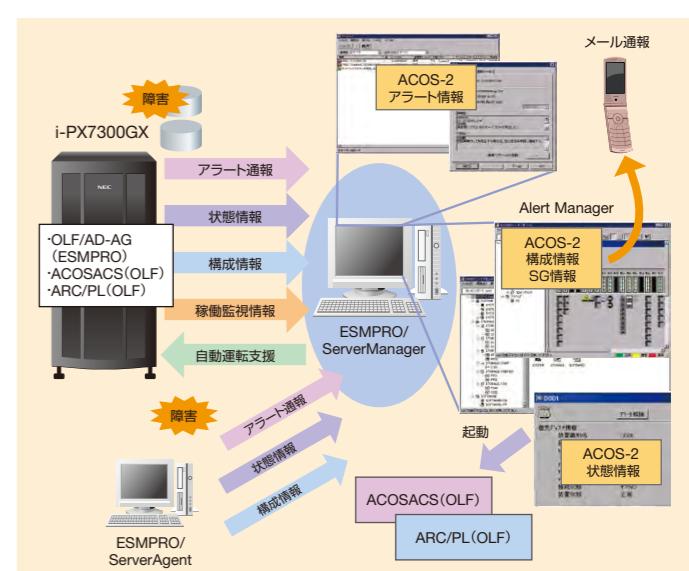
- ユーザ認証状況をログ採取し、利用状況を監視。FTPなどのオープン連携機能を利用したユーザ認証についても同様に監視が可能
 - 不正アクセスを検出し、メッセージ表示
 - 長期未使用ユーザを検出し、利用停止の措置を実施
 - パスワード有効期間の設定、入力リトライ回数の制限、
パスワードファイルの暗号化などパスワード管理を強化
- さらに、メール連携機能(UXNET/ML)などと組み合わせることにより、不正検出時のメッセージをi-PX7300GXに表示するだけでなく、E-Mailを利用して遠隔地の管理者に随時通報するといった、より強力なセキュリティシステムを構築できます。



ネットワーク内のシステムを一元管理

ACOS-2を含む分散システムの統合管理を実現する「OLF/AD-AG(ESMPRO)」

ACOS-2システムをExpress5800シリーズの統合管理ツールESMPRO/ServerManagerの管理対象とし、ACOS-2を含むシステム全体の統合的な運用管理を実現します。ACOS-2システムの構成情報、装置の稼働状態のリアルタイムな表示に加え、ESMPRO/AlertManagerとの連携で、システムの障害情報をアラートとして管理者に即座にメール等で通知するといった運用サポートも可能です。これにより、管理者はいち早く異常を察知し、リカバリに向けての迅速な行動を起こすことができます。



ハードウェア・プロダクト

基幹システムに求められる大量の業務処理に対応した高速性、そして高次元の信頼性…。i-PX7300GXは、先端のオープンテクノロジを採用し、高性能と高信頼性を徹底的に追求しています。さらに、バックアップ連携用のディスクアレイ装置の標準搭載、最新のストレージ製品、オープン環境との融合を考慮したネットワーク接続プリンタなどにより、快適で効率的なシステム運用環境を提供します。

中央処理装置



■ オープンテクノロジの採用

CPUに先端のインテル® Xeon® プロセッサーを採用しながら、ACOS-2のアーキテクチャをそのまま利用可能とする新ファームウェアを開発。従来のアプリケーション資産を活かしつつ、処理能力を飛躍的に向上させています。

■ 幅広い性能レンジ

モデル50GXからモデル500GXまで6モデルのラインアップで約21倍の性能レンジを実現。全モデル(500GXを除く)から上位モデルへフィールドアップグレードすることができます。

■ 中央処理装置

モデル	50GX	100GX	200GX	300GX	400GX	500GX
主記憶装置(Mバイト)*1	標準		64			
	最大		256			
キャッシュメモリ(Mバイト)*1			15			
最大転送能力(Mバイト/秒)*2	14,380		17,580			
最大チャネル数			32			
磁気ディスク容量(Gバイト)*3	標準		4+300(*5)			
LANインターフェース			3×1,000BASE-T			
最大PCIスロット数			5			
省エネ法(2011年度基準)に基づくエネルギー消費効率*4			対象外			

*1: 1Mバイト=1,048,576バイトです。
*2: 1Mバイト=1,000,000バイトです。
*3: 1Gバイト=1,000,000,000バイトです。
*4: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能(単位 ギガ演算)で除したものである。
*5: 300GBのバックアップ連携専用ディスク(Windows形式でデータ格納)を標準搭載。

周辺装置

■ 耐故障性/保守性を追求したディスクアレイ装置

i-PX7300GXでは、同時動作性に優れたSAS*対応のディスクアレイ(RAID1)を標準で採用。万一、ディスクドライブに障害が発生した場合でも、容易にデータの復旧が行え、システムを止めることなくディスクドライブの交換が可能です。また、ホットスペアディスクにより、自動的に故障したディスクドライブの代わりにデータを保存し、非冗長時間の短縮が可能です。

*SAS:Serial Attached SCSI

■ テープレス化を容易にするディスクアレイ装置

ACOS-2基幹システムのデータをWindows形式で格納するバックアップ連携ディスクアレイ装置を標準で搭載。バックアップ連携機能の標準サポートにより、テープ装置なしでのバックアップ運用を容易に実現できます。また、オープン環境において格納データを円滑に遠隔にバックアップすることも可能となり、BC/DR対応としても有効です。

■ システムの運用性/信頼性を高める高機能Storage

ファイバチャネルインターフェースを用い、コントローラやキャッシュも二重化した高機能Storageを提供。キャッシュによる性能向上はもちろん、ストレージ内の複製ボリュームの生成が可能で、バックアップ業務の効率化やシステムの運用性を向上させます。また、2台のi-PX7300GXを接続することも可能で、両システム間でストレージの共有化が図れます。

■ オープン環境との融合を実現するページプリンタ

ACOS-2システムに専用インターフェースで直結されていたページプリンタ装置に代わり、4,000行/分の高速性、600ドット/インチの高解像度を実現し、オープン環境からも利用可能なLAN接続の連続紙ページプリンタを提供。設置場所の自由度を高めたリモート印刷環境の実現やオープンサーバとの共用による装置の有効活用など、幅広い運用形態を実現できます。

■ バックアップ資産の利用継続を可能とするカートリッジ磁気テープ装置

高速/大容量のLTO型カートリッジ磁気テープ装置は、従来のi-PX7300WのLTO型との上位互換を維持しながら、従来比約2倍となる最大1,500Gバイトの記憶容量であるLTO-5媒体に対応しています。用途にあわせて単体型/集合型の2機種を提供しており、集合型では9巻の媒体(1巻はクリーニング媒体)を扱えるため、週単位でセーブ/リストアの管理を行うなどの運用も実現できます。



連続紙ページプリンタ(N3974-01G)



LTO型テープ装置(N3625-201S)

■ ディスクアレイ装置(標準タイプ)

機能	型名	N3721(RAID1)
媒体サイズ		2.5型
最大	装置	1,200Mバイト/秒
データ転送速度*1	サブシステム	4,800Mバイト/秒
記憶容量*2	装置	8Gバイト、16Gバイト、32Gバイト
	サブシステム	最大352GB
消費電力		305VA/300W
省エネ法(2011年度基準)に基づくエネルギー消費効率*3		0.0247(M区分)

*1: 1Mバイト=1,000,000バイトです。

*2: 1Gバイト=1,000,000,000バイトです。

*3: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める記憶容量で除したものです。

■ 高機能 Storage 装置

機能	型名	N3756-6xxx
筐体サイズ		基本: 2U、増設: 2U
データ転送速度(最大)*1		1,600Mバイト/秒(ポート単位)
記憶容量*2	装置	32GB(基本実装)
	サブシステム	16GB(増設単位)
消費電力	基本装置	560VA/550W
	増設ユニット	350VA/350W
省エネ法(2011年度基準)に基づくエネルギー消費効率*3		0.0359(M区分)

*1: 1Mバイト=1,000,000バイトです。

*2: 1Gバイト=1,000,000,000バイトです。

*3: LTO Ultrium5規格です。WORM(Write-Once Read-Many)媒体は使用不可です。

*4: 装置単体での性能仕様の最大値であり、実際のバックアップ処理等に掛かる実行性能とは異なります。

■ 連続紙ページプリンタ

機能	型名	N3974-01G
i-PX7300GXとの接続		LAN
印字速度(行/分)		4,000(6LPPI)
印刷新像度		600ドット/インチ
印字桁数/行(漢字)		102~170
(英・数・カナ)		170~290
フォームオーバレイ		可
イメージ印刷		可
印刷方式		LED露光 乾式電子写真
用紙		スプロケット孔付き連続折りたたみ普通紙

■ テープ装置

機能	型名	N3625-201S	N3625-211S
転送速度(Mバイト/秒)*1,*5		LTO-5媒体*3,*4	140Mバイト/秒
装置種別		単体型	集合型
媒体当たり記憶容量(非圧縮時)*2		1,500Gバイト	1,500Gバイト
装置当たり記憶容量(非圧縮時)*2		1,500Gバイト	1,500Gバイト×8
備考		データ圧縮機能標準	

*1: 1Mバイト=1,000,000バイトです。

*2: 1Gバイト=1,000,000,000バイトです。

*3: LTO-4媒体はリード/ライト可。

*4: LTO Ultrium5規格です。WORM(Write-Once Read-Many)媒体は使用不可です。

*5: 装置単体での性能仕様の最大値であり、実際のバックアップ処理等に掛かる実行性能とは異なります。

ソフトウェア・プロダクト

i-PX7300GXでは、オペレーティングシステムとして《ACOS-2/MP》を採用。
実績あるACOS-2の機能を継承しつつ、インターネット対応機能をはじめとした
豊富なソフトウェア・プロダクトで、多様なシステム構築ニーズにお応えします。

《 ACOS-2/MP 》

インターネット対応機能			
<インターネット基盤>	<トランザクション連携>	<RIQSII/RF	<ストレージ管理>
•UXNET/PE •UXNET/FTPⅡ •UXNET/ML •UXNET/FTPⅢ •UXNET/FTP-EXT •UXNET/FTP-VIEWER •UXNET/FTP-PLANNER •UXNET/TCPIP-EAI	•VIS/VE •RIQSII/XR •OLF/TP-UT •OLF/DB-Navi	•REPLICATION CTL LITE •StoragePathSavior for i-PX7300GX	•OLF/DB-Nav
	<バッチジョブ連携>	<ファイル連携>	•ストレージサポートオプション-2 (2000シリーズ)
	•OLF/JB-SV •OLF/JB-CL	•OLF/FL-RS •OLF/FL-RC	
	<デリバリ連携>	<運用連携>	<ファイル転送>
	•OLF/DL-RW	•ACOSACS(OLF) •ARC/PL(OLF) •OLF/AD-AG(ESMPRO)	•CCSII/TCP
	<データベース連携>	•OLF/AD-FN •OLF/AD-SG(TCP/IP)	
	•RIQSIIサーバ •RIQSIIサーバ/AF •ODBC付加機構 •OLF/DB-EX •OLF/DB-RX		

運用管理	データベース	日本語処理
•DSTOC •ACOSACS •ARC/PL •ACOS/RDP •ACOS-2 VisualResource Manager •ACOS-2 SystemReporter	•ADBS •DS/NL3	•PATDIC G0G •PATDIC G1G
データ管理	言語	アプリケーションプロダクト
•SORT/MERGE-AD	•COBOL85 •COBOL/S •COBOL/SDA •FORTRAN77	•KKCS関連 •KKDIC関連
対話処理	ソフトウェア開発支援	従来互換機能
•MIEDIT •PWSS/SC	•IDLⅡ •SOPIA/SP •DDA •PSA •PATTERNS •PMA •CASEWORLD関連 •IDSP •STA/DEDIT •STA/PARTS	•DS/DEF •DEF •DPF •ALPS

システム運用支援サービス

NECでは、さまざまな業種・業務の分野で培った経験や知識を活かし、
あらゆる場面で《ACOSシリーズ》を有効に活用していただくために
システム運用支援サービスをご提供しています。

システムをつねに最良の状態でご利用いただくために最低限必要になる
サービスをハードウェア／基本OSとあわせてご提供いたします。

システム環境管理	システム構成やシステムパラメータなどの管理を行います。
テクニカル支援	システム改善の事前相談、障害に対する応急処置指導などを含めた技術問い合わせをお受けします。
稼働状況診断	システム稼働状況の調査と報告を行います。
情報提供	製品情報／技術情報／システム事例などをご提供します。
定期訪問	担当SEが定期的にお客様のところへ伺い、システムに関するご相談をお受けします。

運用中のシステムを、さらに円滑に安全に運用するための
支援サービスを提供します。

基本ソフトウェアリビジョンアップ／バージョンアップ支援	OSのリビジョンアップ／バージョンアップを円滑に行います。
汎用アプリケーションリビジョンアップ／バージョンアップ支援	アプリケーションのリビジョンアップ／バージョンアップを円滑に行います。
ソフトウェインストール支援	新規ソフトウェアのインストールを円滑に行います。
システム環境変更支援	データ量の増加や運用システム見直しに伴うシステム環境(ジョブ、ファイルなど)の調査および変更作業を行います。
システム性能分析 他	システム性能分析、システム性能改善作業、システム性能予測を行います。
システム技術教育	基本ソフトウェア、ハードウェアに関わる性能、利用方法などの教育を行います。
その他、テクニカルコンサルティング	